

令和2年度予算をこう評価する

3月13日の本会議において、令和2年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区民の安心と元気を育む幸福実感予算となるよう一層努力することを要望し、賛成
自 民 党



自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成にあたり、区民が真に求めている区民サービスを効率的・効果的に実施し、あまねく区民の生活が向上し、安心・安全に暮らすことのできる街づくりを目指し、13の重点項目をはじめ、300を超える事項について、積極的に推進していくよう要望した。

区はこの要望を踏まえ、内部努力の更なる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図る一方、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分しており、改めて区の努力を高く評価する。

主な施策について述べると、震災対策では本庁舎屋上に72時間稼働が可能な非常用発電機整備の着手、避難所開設訓練の積極的実施、子育て支援では私立幼稚園教諭への宿舍借り上げ支援、奨学金返済支援事業の実施、産業振興では日暮里地域活性化施設にて繊維街という立地を活かした創業支援施設・カフェ等の設置等を高く評価する。

これらの他にも、我が党は予算に関する特別委員会における質疑を通じて、各分野の施策や事務事業に関して、具体的に確認を行った。主なものを挙げると、成人の日の集いの対象年齢の早期決定及び開催日変更の検討、東日暮里地域への防災備蓄倉庫設置、高層マンション屋上で備蓄の推奨、日暮里駅等への駅・ストリートピアノの設置、AI活用による特殊詐欺対策の導入、水害と震災を区別した訓練の実施、喫煙所設置による区内の分煙環境の整備、医療的ケア児への居宅訪問型保育における近隣保育園との連携強化、在宅育児家庭への支援の充実、新型コロナウイルス感染症に対する区としての方針を持った具体の対応、シエ

アサイクルとの連携やホテル・旅館情報など観光アプリが長く愛されるコンテンツの検討、危険老朽空き家の処理に向けた粘り強い努力、教員の働き方改革に向けた業務内容の軽減と教員の意識改革、区費のスクールカウンセラーの十分な経験と質の担保等である。

最後に3点、強く要望する。新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望を踏まえ、各分野における即応体制を速やかに準備、緊急対策を実施し、感染拡大を防止すること。西日暮里再開発のホールの整備については、事業自体及び事業計画のさらなる精査、民間活力による事業スキームの転換など、あらゆる手段の鋭意検討と創意工夫に努めること。これらの課題の解決の前提となる健全な財政運営を維持するため、財政フレームを作成すること。区においては、こうした我が党各議員からの意見や提案を真摯に受け止め、ぜひとも区政に反映するよう求める。

これらを踏まえ、新年度の予算執行にあたっては、区民の安心と元気を育む幸福実感予算となるよう一層努力することを要望し、また、自由民主党荒川区議会議員団も、執行機関との良き緊張関係を保ちつつ、今後とも西川区政を支えていくことを表明して予算案に賛成の討論とする。



◀日暮里地域活性化施設
(完成イメージ図)



区民生活の向上に一層の努力を
要望し、賛成



公明党

令和2年度予算は、西川区長就任第4期目を締め括る予算であり、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、子育て環境の整備、介護予防の推進、防災対策の強化等、区民の安全安心の向上はもとより、地域の経済や文化の活性化等に着実に取り組むことで、区民の幸福実感を一層高めていくという思いが込められたものと受け止めている。

一般会計の予算規模は1070億円となっており、ふれあい館や新尾久図書館の整備、児童相談所の設置など、過去最大規模の予算となった。

私たち公明党荒川区議会議員団は、昨年9月、本予算の編成に先立って、日頃の区民相談で受けた要望を踏まえ、142項目に及ぶ令和2年度予算に関する要望書を西川区長へ提出した。区は、この要望を受け止め、「区民の安心と元気を育む幸福実感予算」として本予算を編成したものと高く評価している。

具体的には「運転経歴証明書の取得を支援する制度の導入」、「児童相談所の区移管に向けた職員の人材確保及び育成」等々が予算化されており、その他にも私たちの主張が幅広く取り入れられ、限りある財源を重点的・効果的に配分し、メリハリの利いた予算を編成したものとなっている。

また、予算に関する特別委員会においても、「あらBOSAの中学校区単位での開催」、「絵本大賞受賞作品の即売や記念誌発行等の検討」、「高齢者住宅契約貸主助成事業や都市型軽費老人ホームのさらなる周知」、「里親制度の拡充に向けた取り組みの推進」、「肺炎球菌予防接種の接種率向上」、「公立小学生の制服についての前向きな検討」等、早急に検討すべき課題として、要望・提案を行った。さらに、総括質疑において行った、「就職氷河期世代や高齢者への就労支援」等の提案についても、ぜひとも今後の予算執行等に反映し、区民生活の向上に一層努力することを要望して本予算案に賛成の討論とする。



◀過去に開催された
あらBOSAの様子

西日暮里再開発などを見直し、
区民のくらし応援第一の予算
編成を求め、反対



共産党

本予算案には、消費税増税、雇用の不安定、収入減に苦しむ区民を応援する新規事業はない。区民のくらしを守るため、地方自治の本旨である住民の福祉と安全のための予算編成をすべきである。

本予算案に反対の理由は、第1に、西日暮里再開発などを優先し、区民のくらし応援の施策を後回しにしていること。第2に、児童相談所の設置に向けた専門職の増員を区独自でできたように、高齢者福祉や生活保護行政への専門職の増員を行うべきであること。第3に、税金等の滞納処分が機械的に行われ、くらしのSOSという認識が弱いこと。第4に、保育の質の確保と保育士の処遇改善などの抜本的対策が進んでいないこと。第5に、高齢者・障害者・ひとり親などの、公的住宅の確保や家賃補助の拡大に消極的なこと。第6に、国民健康保険料等の負担を減らす対策の検討がないこと。第7に、防災に強いまちづくりは、木造密集地域の改善こそ、第一義的課題であること。

次に、以下についても要望する。防災減災対策について、高齢者などへも早期に防災ラジオを配布すること。介護保険について、必要なサービスの提供が削減されないこと。障害者福祉について、三障害ワンストップの機能が果たせる基幹型障害者支援センターとすること。環境分野について、減プラスチックごみ削減の仕組みづくりをすること。ジェンダー平等の実現に向け、男女平等推進センターの体制を強化すること。

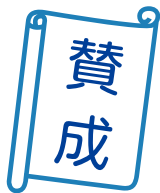
最後に、新型コロナウイルス対策について、PCR検査と医療体制の強化とともに、学校休校における家庭への負担増や子どものケア、地元の事業者の救済措置、休業補償について政府の不十分な対応のカバーを求める。

対応すべき課題が山積し、敏速適切な対応が求められる中で、国の指示や要請通りでなく、緊急補正予算を組む構えで対応することを求め、反対討論とする。



◀ごみ削減に向けた取り組み

風水害対策等の施策の充実・実効性を図るよう求め、賛成



民主ゆいの会

令和2年度一般会計予算は、①限られた財源を重点的かつ効果的に配分すること、②事務事業の再点検・見直しを図ること、③中長期的な視点に立った財政運営をすること、の3点に重点を置いて積極予算を編成したとの説明がなされた。

委員会においては、この方針のもとに適切に予算編成がなされ、実効性のある施策が実施されるのか、との認識をもって審議に臨んだ。賛成にあたり、風水害対策としての応急対策用車両を事前に安全な場所に避難できるよう事業者との協定締結、地域猫対策、防災ヘルメットの導入、スケートパーク施設の設置等について、施策の充実・実効性を図るよう求める。

また、西日暮里の再開発については、更なる議論の必要性を感じる。

昨年、会派として要望した、3歳児健診における「視覚スクリーニング検査」の追加、スクールサ

ポートスタッフ充実に向けた取り組み、自転車のまち荒川区の実現に向けたシェアサイクルの実証実験の導入等を評価し、賛成の討論とする。



◀折りたたみ式防災ヘルメット

世の中の風潮に流されて編成された予算案であり、反対



日本創新党

反対する理由は、日本の経糸を守り引き継ぐ覚悟も大局観も持たず、世の中の風潮に流されて編成された予算案であるからである。

日本国内の北朝鮮である朝鮮学校が対象の9割を占める外国人学校保護者補助金に、多額の予算を組んでいるのは、行政によるテロ国家支援に他ならない。また、タブレットパソコンをすべての小中学校へ1人1台体制でばらまき、教育をタブレット頼りに劣化させている。保育園の運営・建設に対して100億円も支出する一方、家庭での子育てをする世帯への支援が貧弱である。新型コロナウイルス感染者の情報を基本的に公開しない姿勢も問題である。西日暮里駅前再開発への多額の公金投入も到底賛成できない。

以上申し述べた点を中心に、異議申し立てを行い、反対の討論とする。



◀新型コロナウイルスを含む感染症対策の啓発